

# 令和5年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和 6年3月28日

学校法人星和学園  
幼保連携型認定こども園  
星和幼稚園

## 1. 本園の教育目標

神に創られ愛されている存在として、いろいろな体験を通し、心の調和を図り、神と人とを愛する。

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・幼保連携型の良さを十分に生かせるように、年齢別の保育を大切にするとともに、異年齢交流も行き、子ども同士で育ちあえる環境づくりに努める。
- ・コロナ後の行事運営を構築し、充実させるよう努める。
- ・保護者との連携を大切にし、家庭と幼稚園双方で子どもを育てていく環境を作る。
- ・職員が研修に参加し、キャリアアップする機会を作る。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	年齢別の保育を大切にするとともに、異年齢交流を行う。	A	・それぞれの年齢に合わせた保育環境を整え、保育を行うことができた。 ・年長児が主体となった夏祭りや年中児のお店屋さんへ他学年を招いたり、一緒に散歩へ行ったりするなどの異年齢交流を行うことができた。
2	コロナ後の行事運営に取り組む	B	・コロナで縮小していた行事の見直しをしつつ、現在の園の在り方に合わせて行うように努めた。 ・コロナ前のことを知らない職員が大半だったためか、行事を楽しむよりも「大変さ」が先走ってしまった。
3	保護者への説明、報告などを丁寧に行い信頼関係を作る。	A	日々の保育で子どものけがや人間関係でのトラブルなどがあった場合にはきちんと報告し、その状況を保護者が的確に理解できるように努めた。
4	職員が研修に参加し、キャリアアップする機会を作る。	A	キャリアアップ研修に参加し、日々の保育や保護者支援に役立てることができた。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

#### 4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	<p>保育者は日々の保育の中で、子どもたちによりよい保育を提供するために創意工夫をし、子どもたちは喜んで園生活を送ることができた。</p> <p>保育部（0歳～2歳）、教育部（3歳～5歳）、教育時間後の預かり保育をそれぞれ担当する職員間での情報の共有に課題がある。</p> <p>母の会の役員の方を中心に委員会などで保護者の方が活躍してくださり、子どもたちによりよい環境を整えることができた。</p> <p>研修に参加し、教職員の資質の向上を図ることができた。</p>

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

#### 5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	職員間の情報共有を密にする	職員会議での決定事項やそれぞれの現場での連絡事項等を確認できるようにノートを置き、確認するようにする。
2	危機管理意識の向上と取り組み	自然災害に対する意識だけでなく、不審者対応の危機管理についても全員が意識を持って取り組めるように話し合ったり、実際に訓練したりという機会を引き続き行っていく。
3	働き方改革に言われる労働時間の短縮と働き方の工夫	勤務時間を守って早く帰るように勧めるだけではなく、仕事の内容も把握し、何が大切なことで残すべきか、何を削減できるかを共に考え、より良い環境づくりに努めたい。また、ICT化を進め、簡素化できる部分は簡素化できるように努める。

#### 6. 学校関係者評価委員会の評価

昨年度同様、園児数は安定し、地域に根差した園として保護者からの支持を得ていると認められる。引き続き適切な運営を目指して、日々の保育の向上に励まれることを願っている。

#### 7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に園運営されていると認められた。